



2020–21年全国残留物調査 水産物



全国残留物調査（NRS）は、オーストラリア政府農業・水・環境省内で運営されており、1992年以来、課徴金を通じて業界からの資金提供、あるいは直接の資金提供により調査を請け負っています。

NRSは、オーストラリアの有害生物駆除薬および獣医薬残留物管理スキームにとって欠かせない役割を果たしており、化学物質の使用を管理する法令や指針に沿って適正農業規範の検証を行っています。

NRSプログラムでは、オーストラリア産の食品中に存在する有害生物駆除薬、獣医薬残留物および汚染物質のレベルおよびこれらの残留物に伴うリスクをモニタリングしています。本プログラムは、国内外市場への継続的なアクセスを推進しています。NRSは、オーストラリアの国内基準および関連する国際基準の双方を満たす高品質な動物、穀物および園芸産品を提供しているオーストラリアの一次生産者や食品加工業者を支援しています。

水産物プログラムの概要

水産物プログラムは、1990年代前半以来実施されており、業界のコスト回収協定を通じて賄われています。本プログラムでは、多岐にわたる農薬、獣医薬および環境汚染物質について、オーストラリアの養殖および天然の水産物製品の検査を行っています。

重要なポイント

- ▶ 2020/21年度は、オーストラリア基準に対する全体的な遵守率は養殖サンプルについては100%、天然の水産物サンプルについては100%でした。
- ▶ オーストラリアの水産物生産者は、高度な捕獲・養殖・加工基準を遵守し続けています。
- ▶ 全国残留物調査の品質管理システムは、ISO 9001:2015の認証を受けています。

本プログラムは、輸出される水産物が、オーストラリアの輸出認証および輸出先国の要件を満たせるようにします。さらに、本プログラムは、業界品質確保の取り組みを支援しており、国内の水産物加工施設が州および特別行政区政府規制当局の許可要件を充足することを可能にしています。

試料の収集

収集される試料の数は、オーストラリアの生産水準および／または国外輸出市場の条件に基づいて決められます。

試料は、政府の公認担当官によって収集され、担当官は養殖場または加工施設から、特定された時点で、無作為に選ばれた試料を入手します。

分析用スクリーニング

分析用スクリーニングは、業界との協議を通じて開発されており、オーストラリアで登録された化学物質、化学残留物特性および国外市場の要件を考慮に入れています。

表1に示されているように、多岐にわたる農薬、獣医薬および環境汚染物質について、水産物の試料がスクリーニングされます。

結果

2020年から2021年には、合計181の養殖水産物および25の天然水産物の試料が集められ、分析が行われました。結果は、オーストラリアの基準と比較し、適宜、関連する国際基準とも比較しました。

オーストラリア基準に対する過去6年間における水産物の遵守率の要約が、表2に示されています。この結果から、オーストラリア基準の遵守状況が極めて良好であることが明瞭であり、水産物産業が適正捕獲・養殖・加工規範に厳格に従っていることを実証しています。遵守率は一貫して高く、これによって、国内外の市場でオーストラリア産海産物の評判と信用が保たれています。

水産物プログラムの毎年のデータ群の要約は、省のホームページ

[agriculture.gov.au/](https://agriculture.gov.au/nrs-results-publications)

[nrs-results-publications](https://agriculture.gov.au/nrs-results-publications)に掲載されています。



表1 水産物プログラムのための分析用スクリーニング

分析用スクリーニング	化学物質のグループ	分析物
獣医薬および有害生物駆除	駆虫薬	大環状ラクトン類を含む
	抗菌剤	アミノグリコシド、 β -ラクタム、マクロライド、ニトロフラン、ニトロイミダゾール、フェニコール、スルホンアミド、テトラサイクリンおよびキノロンを含む
	ホルモン	スチルベンおよびアンドロゲン性ステロイドを含む
環境汚染物質	有機塩素	アルドリン、クロルダン、ディルドリン、DDT、エンドリン、HCB、HCH、ヘプタクロル、リンデン、ミレックス、トキサフェンおよびPCB類
	金属	アンチモン、ヒ素、カドミウム、クロム、鉛および水銀
	色素	クリスタルバイオレット、マラカイトグリーン、ブリリアントグリーン、メチレンブルーおよびビクトリアブルー

表2 オーストラリア基準の過去6年間における遵守率

年	収集された試料	遵守率 (%)
2015-16	養殖	100
	天然	100
2016-17	養殖	98.55
	天然	100
2017-18	養殖	100
	天然	100
2018-19	養殖	99.48
	天然	100
2019-20	養殖	100
	天然	100
2020-21	養殖	100
	天然	100



検査機関の選択と実績

NRSは、有害生物駆除薬/獣医薬残留物および環境汚染物質について動植物製品の試料を分析するために、検査機関と契約を締結しています。

検査機関は、実力およびコストパフォーマンスに基づき、オーストラリア政府の入札手続きを通じて選ばれています。検査機関は、検査開始の時点で、国際規格であるISO/IEC17025の認証を取得していなければなりません。

分析結果の妥当性と技術力を確保するために、契約を締結した検査機関の実力はNRSによって検査されます。

NRSは、技能検査実施者として、2005年7月以来、オーストラリア国立試験認可者協会（National Association of Testing Authorities）から認証を受けています。



国際輸出市場

NRSは、NRSによって支援されている業界のために、オーストラリアおよび主要輸出先国に対して適用される最大残留基準（MRL）に関する情報を維持しています。全ての分析結果は、オーストラリアの基準および関連する国際MRLの遵守に関してチェックを受けています。

オーストラリアのMRL基準については、legislation.gov.au/Series/F2019L01105をご覧ください。

いくつかの国際輸出市場のMRL要件については、リンク agriculture.gov.au/nrs-databases をご覧ください。



一般的なお問い合わせ

電話 1800 420 919

住所

National Residue Survey
GPO Box 858, Canberra ACT 2601 Australia



agriculture.gov.au/nrs

電子メール nrs@agriculture.gov.au